

TOKYO働き方改革宣言

従業員のライフワークバランスの推進を目指して、従業員一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働けるよう働き方改革に全社的に取り組みます。

平成30年3月16日

ココレア株式会社

目標

働き方の改善

フレックスタイム制度、短時間勤務制度、勤務間インターバル制度の導入により、多様な働き方を許容し、時間外労働を抑制するような風土を作り上げ、ワークライフバランスと生産性の向上促進をします。

休み方の改善

記念日等年次有給休暇制度や時間単位での年次有給休暇制度、子育て・介護等目的休暇制度を整備し、従業員が積極的に休暇を取得できるような職場の風土を作り、有給休暇の日数の周知を徹底し、取得率50%を目指します。

取組内容

働き方の改善

- ・管理職との定期的な面談を実施し、業務の分担をできるようにする。
- ・長時間労働を抑制するために、勤務間インターバル制度を導入する。
- ・様々な社員を受け入れ分担できるよう短時間勤務制度を導入する。
- ・多様な働き方を推進するため、フレックスタイム制度を導入する。

休み方の改善

- ・管理職に対し部下の休暇取得状況を定期的に提供する。
- ・記念日等年次有給休暇制度、時間単位での年次有給休暇制度、子育て・介護等目的休暇制度の整備をすることで、柔軟な休み方や休暇を取得しやすい制度、風土を作り有給休暇の取得促進を図る。